



Sapporo Gakuin University

学園広報

2010.11.20 No.107

編集・発行
札幌学院大学 広報課



〒069-8555 北海道江別市文京台11番地
電話(011)386-8111 http://www.sgu.ac.jp



私達吹奏楽団は現在二十七名で活動しています。今年度は大学バンドフェスティバルや、当団主催の第十一回プロムナードコンサート等の演奏活動をしてきました。これらの演奏活動はステップアップ・プロジェクトの支援を受けています。

吹奏楽団

団長 **松下 寛己**
(社会情報学部 社会情報学科三年)

プロジェクトの支援があつたが、四月に新たな新入団員を迎えたので、練習道具の不足が団内で問題視されました。そこで、ステップアップ・プロジェクトの支援を受け、不足していた練習道具をそろえることができました。これからは当団にとって重要な演奏活動である、定期演奏会に向けて頑張ります。

第31回定期演奏会
12月18日(土)
えほあホール



SUP援助金で 一層のステップ・アップを!!

総合芸術研究会写真部
今年度申請があつた五団体の団体名とテーマは以下の通りです。①④⑤が公認サークル、②③が任意団体からのものでした。



JP*FANS.

代表 **松本 みなみ**
(人文学部臨床心理学科三年)

私たちがJ*P*FANSは前から行っていた図書館DVDディスプレイ、今年から始めたエコキャップ運動、学食改善アンケートの三つを前期では中心に活動しました。エコキャップ運動では大学生協前

かたちに頑張っています。



SGU 江別 BBS 会

会長 **石井 圭祐**

今年度申請があつた五団体の団体名とテーマは以下の通りです。①④⑤が公認サークル、②③が任意団体からのものでした。

SGU江別BBS会は年に四回、児童自立支援施設である北海道立向陽学院を訪問し、自分たちで考えたレクリエーションを施設の生徒さんで行っています。今回のステップアップ・プロジェクトを頂いて頂いた援助金をこの訪問に使用させていただきます。レクリエーションを考えた道具などを準備する活動費はもちろんです。北広島にある施設の交通費も多大な負担となりました。今回はステップアップ・プロジェクト援助金を頂くことが感謝の気持ちでいっぱいです。このように援助金を頂くことで、私たちが活動の幅を広げ、より良い活動を行えると考えております。本当にありがとうございました。



会計学研究会

代表 **長坂 玄太**
(経営学部会計ファイナンス学科一年)

私たちが会計学研究会は、日商簿記検定一級の取得を目指して活動しています。検定に合格するために必要な参考書や過去問題集をこの援助金を利用して購入しました。

「理解をいただき援助していただいたことに深く感謝し、今後も活動を続けていきます。」

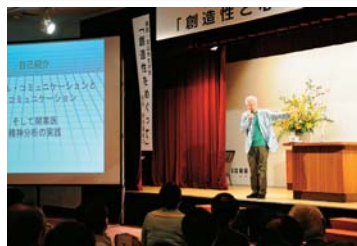


総合芸術研究会写真部

部長 **飛内 祐樹**
(法学部法律学科三年)

今回のステップアップ・プロジェクトでは「フォトコンテストに入学しよう」というプロジェクトを企画しました。今までは高費用のカメラや印刷費がかかっていたのですが、自費でまかなっていましたが、今回の援助金で、今度の援助金を活用して、二人が準備した写真部を賞賛しました。

今度のステップアップ・プロジェクトでは「フォトコンテストに入学しよう」というプロジェクトを企画しました。今までは高費用のカメラや印刷費がかかっていたのですが、自費でまかなっていましたが、今回の援助金で、今度の援助金を活用して、二人が準備した写真部を賞賛しました。



精神分析の巨匠、 北の大地で創造性を語る

去る七月十八日(日)にホテルさっぽろ芸文館にて、札幌学院大学大学院臨床心理学研究科開設十周年と心理臨床センター開設十五周年の記念行事の一つとして、「創造性と心理臨床」のテーマに、九州大学名誉教授の前田重治先生と北山修先生をお招きして講演会と対談が行われました。およそ六〇名の参加が、非常に個人的な側面と、どう造っていかのかという「創造性」を発信し続ける「創造性」としての自由を保ちつつ、北の大地も、「周辺」と表現される九州の地で精神分析の理論を深め進歩の指導に当たられたとされています。

法学部は今年五月、来年度(二〇一二年)から入学する学生を対象に、新たに「スポーツコース」を設置することを決定した。法学部は二〇〇八年度から始めた現行のカリキュラムで、これまで「行政コース」「法職コース」「企業コース」「国際コース」の四つのコースが設置されており、今回の「スポーツコース」は五つの設置によって、法学部のコース制は、法分野とが学問領域の区分といった、教える側が慣れ親しんでいる事柄をコース分けの根拠としている。逆し、学ぶ学生たちがが学生生活のなかで最も意識するであろう卒業後の目標・進路に焦点を当て、コースを設定している。

「学生」の「スポーツ」というとき、関連の「進路」というとき、概して、プロや実業家の選手や指導者をイメージしがちである。しかし、スポーツへの接し方を「する」スポーツと「観る」スポーツとに分けてみると、法分野とが学問領域の区分といった、教える側が慣れ親しんでいる事柄をコース分けの根拠としている。逆し、学ぶ学生たちがが学生生活のなかで最も意識するであろう卒業後の目標・進路に焦点を当て、コースを設定している。

法学部は今年五月、来年度(二〇一二年)から入学する学生を対象に、新たに「スポーツコース」を設置することを決定した。法学部は二〇〇八年度から始めた現行のカリキュラムで、これまで「行政コース」「法職コース」「企業コース」「国際コース」の四つのコースが設置されており、今回の「スポーツコース」は五つの設置によって、法学部のコース制は、法分野とが学問領域の区分といった、教える側が慣れ親しんでいる事柄をコース分けの根拠としている。逆し、学ぶ学生たちがが学生生活のなかで最も意識するであろう卒業後の目標・進路に焦点を当て、コースを設定している。

「学生」の「スポーツ」というとき、関連の「進路」というとき、概して、プロや実業家の選手や指導者をイメージしがちである。しかし、スポーツへの接し方を「する」スポーツと「観る」スポーツとに分けてみると、法分野とが学問領域の区分といった、教える側が慣れ親しんでいる事柄をコース分けの根拠としている。逆し、学ぶ学生たちがが学生生活のなかで最も意識するであろう卒業後の目標・進路に焦点を当て、コースを設定している。

2011年度 大学院二期入試
社会人も受け付けています
願書受付: 2011年1月14日~1月28日(消印有効)
入学試験日: 2011年2月12日・13日

- 法学研究科
- 臨床心理学研究科
- 地域社会マネジメント研究科

*詳しくは、教務部大学院・研究課へお問合せください。

精神分析の巨匠である二人の共通点は、「周辺」と表現される九州の地で精神分析の理論を深め進歩の指導に当たられたとされています。

「学生」の「スポーツ」というとき、関連の「進路」というとき、概して、プロや実業家の選手や指導者をイメージしがちである。しかし、スポーツへの接し方を「する」スポーツと「観る」スポーツとに分けてみると、法分野とが学問領域の区分といった、教える側が慣れ親しんでいる事柄をコース分けの根拠としている。逆し、学ぶ学生たちがが学生生活のなかで最も意識するであろう卒業後の目標・進路に焦点を当て、コースを設定している。

「学生」の「スポーツ」というとき、関連の「進路」というとき、概して、プロや実業家の選手や指導者をイメージしがちである。しかし、スポーツへの接し方を「する」スポーツと「観る」スポーツとに分けてみると、法分野とが学問領域の区分といった、教える側が慣れ親しんでいる事柄をコース分けの根拠としている。逆し、学ぶ学生たちがが学生生活のなかで最も意識するであろう卒業後の目標・進路に焦点を当て、コースを設定している。

法学部に「スポーツコース」
一道内初のスポーツコース

伊藤 雅康
法学部 教授

「支える」仕事の多様性に「支える」仕事が多様化する。このように、スポーツに関わるというときの関わり方には実に様々な形がある。

「スポーツコース」
その多様性を踏まえて、「コース科目」には、一方では、広くスポーツをめぐって現象を考察する「スポーツ文化論」「スポーツ政策」「スポーツと地域社会」といった科目を指定し、他方で、法の内容や方法をめぐる競争のあり方を考察する科目と「スポーツ法A」「スポーツ法B」を併せて指定している。

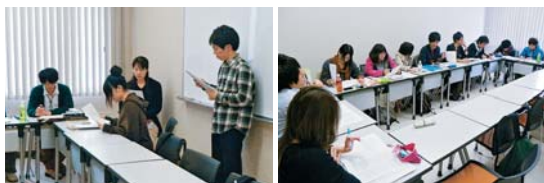
Seminar

わたしたちの ●ゼミ紹介します!
@SGU vol.8

「ソーシャルワークの理論と実践」

横山登志子 人文学部 教授

ゼミでは各自の関心領域に沿って発表を繰り返しながら、ソーシャルワークの理論と実践についての共通理解を得られるよう進めています。



本ゼミでは、社会福祉に
関心がある学生がそれぞれの
関心を深めながらも、共
通するテーマであるソ
シヤルワーク(社会福祉援
助)の理論と実践という点
から文献抄読やディスカ
ッションを行っています。



例えば、「障害者の親亡
き後問題」を取り上げる人
もいれば、「高齢者の社会
的入院」「子ども虐待」「乳
がんを患う人への支援」「精
神障害者の地域支援」「聴
覚障害者への手話教育」な
どについて考えようとする
セッションの方法(ディ
ベートや問題解
決型討議など)
を学ぶことも意
識しています。
ゼミ生がグル
ープに分かれて
ディスカッション
することも練習
しています。
社会に出てか
ら必ず役立つ
であろう、多
面的に検討できる
力をゼミ生仲間
なかでつけて
いってほしいと
願っています。

第8回以降の講師とテーマ一覧

回数	日付	講師	テーマ
第8回	11月24日	山田 誠治 氏 北海道大学経済学部教授	アントレプレナーシップ と中小企業論
第9回	12月 1日	森岡 深 氏 株式会社パソナ パソナキャリアカンパニー	クレーム対応の考え方- CSとリスクマネジメント とは?
第10回	12月 8日	石崎 芳臣 氏 北海道大学経営学部教授	経営戦略としてのガバナ ンスとCSR
第11回	12月15日	鈴木 昭彦 氏 札幌学院大学 総務部 人事課 課長	祝制からみた中小企業の 現状について
第12回	12月22日	吉田 勝弘 氏 旭川大学経済学部教授	財務分析からみた企業経 営
第13回	1月12日	講師未定	企業の経営政策と労働法 制
第14回	1月19日	三好 元 氏 札幌学院大学経営学部教授	地域金融機関の中小企業 金融と地域再生
第15回	1月26日	金山 剛 氏 札幌学院大学法学部教授	おわりに

●入場無料(事前申込不要) ●時間/13:10~14:40
●毎週水曜日(12/29及び1/5は除く)
●会場/札幌学院大学 D202教室(0館2階)

フィールドからの記事が豊富な人間科学科ブログ

人間科学科では、2008年7月か
ら学科独自のwwwページを全面的に
ブログに移行し、日常的な教育研究活
動のようすを折にふれてお知らせして
います。カリキュラムやスタッフの一
覧は大学の公式ページでも紹介されて
いるので、こちらのねらいはより身近
な視点からの情報発信にあります。
執筆は5つの領域の教員が順くりに
担当しています。投稿は毎月2日
回強と決まっていますが、その
ぶん順番が回ってきた教員はいわば
満を持して執筆するようすです。その
ため、一つ一つの記事に読むごたえのあ
る、かつブログの特徴といえるでしょ
う。またフィールドワークを重視する
人間科学科の教育内容を反映して、学
外での活動の記事が多いのも特徴で
す。満開のヒマワリ畑やモンゴルの草
原の写真など、ぜひご覧になってみて
ください。
学科広報担当 人文学部 准教授
奥田統巳



人間科学科ブログ
<http://jinbunweb.sgu.ac.jp/nineng/>

図書館ブログ~ほんわかとく~

図書館は単なる図書や電子メディア等
の知の集積場所から、知を創出す場
として変わろうとしています。ただ本を借
りるだけ、閲覧室で勉強するだけの図書
館から、多くの学生と教員が図書職員
がコミュニティ共同作業をつづけて
知を創出す場としての図書館と……
図書館ブログ「ほんわかとく」は日々
図書で起きる出来事や「図書」ばかり
ではなく映画、音楽、演劇、アニメなど
の多様なメディア情報や知的好奇心を誘
発する情報を楽しく発信することにも
注力し、ネット上に図書と利用者の皆々との
コミュニケーションの場を構築しよう
とするものです。
現在は図書館職員を中心に書いていま
すが、これから図書館学生ボランティア
にも協力していただき、学生さんを目
線からの図書館にいたる話題を発信し
て行くと考えております。
図書館のHPにブログへのリンクがあ
りますので一度アクセスしてみてください。
(札幌学院大学図書館課長 京谷正博)



札幌学院大学図書館
HP <http://lib.sgu.ac.jp/>
図書館ブログ
<http://lib.sgu.ac.jp/modules/wordpress/>

大学を元気にしていくイベント記事随時更新中!

SGU企画戦略チームです。
私たちは、「大学を活性化させるた
めのアイデアを形にしていこう」と
今年度有志で結成した学生チームで、
先日行われたCMコンテストの企画、
運営や「SGUナビ」という大学紹介
動画の制作プロジェクトなど、電子計
算機センターを拠点に活動していま
す。
活動の様子については、ブログや
ホームページを通じて発信していま
す。ブログは、これまでのイベント準
備や、日々の活動の様子、ムービー
賞の結果など、企画戦略チームに在籍
する十名のスタッフが三チームに分か
れ、担当した活動についての記事を随
時更新しています。企画戦略チームで
は映像制作に留まらず、今後では学
を元気にしていくイベントを複数企画
です。その様子もブログ上でお伝えし
ていくので、是非ご覧ください。
(札幌学院大学企画戦略チーム
代表 中田徹)



企画戦略チームブログ
<http://ext-web.edu.sgu.ac.jp/supportdesk/kikaku/index.html>

異文化に触れる 視野が広がる 少林寺拳法部 グラム大学との交流

少林寺拳法部主将 松岡 透
(経済学部経済学科3年)

二〇一〇年八月十九日午
後、私たち少林寺拳法部は
札幌学院大学第二キャンパ
スにおいて、姉妹クラブと
して友好宣言を締結してい
る、イギリスのグラム大学
少林寺拳法部の十二名合
同練習を行いました。
同練習を行いました。



「友好宣言」調印式 2007年2月

部は創部から四十二年経つ
伝統あるクラブです。イギ
リスとの関係は、二代のO
Bが大学卒業後イギリスに
渡り少林寺拳法を広めたこ
とに始まります。そして当
部のグラム大学少林寺拳法
部のジムを監督していま
す。二〇〇五年福井県で開
催された国際大会にイギリ
シ代表として部員を引率し
た際、北海道を訪れ札幌学
院大学の部員やOB・OG
と懇親会を行ったことか
ら両大学の交流が始まりま
した。二〇〇七年、正式に姉
妹クラブとして友好宣言を
締結し、二〇〇八年の来日
そして今回の来日と、両大
学の交流は続いています。
今回は香川県にある本場で
の昇段試験の後、北海道ま
で来てくれることになりま
した。



練習後はOB・OG
も一緒にになり、札幌市
内で歓迎会を行いました。
短い時間でしたが、
学生達は私達よりも一回り
楽しんでいる様子です。

少林寺拳法は「護身鍛錬」
「精神修養」「健康増進」を
兼ね備えた「八つくりの行」
といわれています。合同練
習ではグラム大学のジエ
ム監督、札幌学院大学の
池上監督のもと、突き、蹴り
も一緒になり、札幌市
内でも歓迎会を行いました。
短い時間でしたが、
学生達は私達よりも一回り
楽しんでいる様子です。

体が大きく、日本語
もまったくといって
いいほど通じなかつ
たため、練習前は不
安で一杯でしたが、
少林寺拳法に対する
気持ちは各国共通で
す。私の英語は不十
分だとは思いますが、
一生懸命に通じ
たいと思います。

とができ、両大学の絆も強
くなったことと思います。
また、普段は外国の方と一
緒に練習することが無いの
で、今回の合同練習は貴重
な体験でした。これからも
姉妹クラブとして恥じない
よう一生懸命活動してい
きたいと思っています。

皆さんにお聞きしました

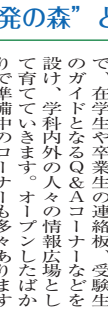
学院の
新
たな
試
み
と
して
4
月
に
発
足
した
学
生
広
報
チ
ーム
ブ
ロ
グ
ア
ド
レ
ス
(携
帯)
<http://www.k.sgu.ac.jp/>
生
産
報
士
チ
ーム
も
早
い
こ
と
で
半
年
が
経
ち
ま
し
た
。私
た
ち
は
今
日
ま
で、学
院
副
12号
線
沿
い
の
看
板
デ
ザ
イ
ン、地
方
交
通
広
告
の
制
作
大
学
携
帯
サ
イ
ト
の
ブ
ロ
グ
更
新
ミ
ニ
オ
ー
プ
ン
キ
ャ
ン
パ
ス
へ
の
参
加
と
い
っ
た
活
動
を
し
て
い
ま
す。
また、5月上旬から始めた冊子も無
事に完成し11月末には配布すること
もできました。任期は1年間なので、こ
のメンバーでの活動はあと少しです。
初めのあの静けさは、体こへ……と
いうくらい、今は和気あいあいとした
雰囲気です。毎週木曜日の定例会議も行っ
ています。
前例がなく何もかも初めての経験で
戸惑いもありましたが、「やるからには
良いものを」ということでとにかく
突っ走ってきました。まだまだ知名度
は低い学生広報チームですが、これか
らも頑張っていきたいと思いますので、温かく見
守っていただければと思います。
(札幌学院大学学生広報チーム
池田亜美)

臨床心理学科をより深く知る!

臨床心理学科では、学科独自の広報
の試みとして、数名の教員による講義
ブログを作成しています。内容は、一
年次の基礎ゼミナール担当の教員が、
ゼミナールの内容紹介や、学生さんの
様子などを書いていきます。また、一年
次配当の専門科目である臨床心理学概
論について、担当教員が毎週、講義の
内容やその講義を通して感じたこ
となどを書いていきます。
大学パンフレットなど様々な印刷物
で授業の概要については述べていま
すが、これらのブログは、様々な方
に臨床心理学科のゼミナールや講義の
内容を、より現実に近い形で知って
もらえればという考えより作られています。
ものにしたという考えです。臨床心
理学科の授業が実際にどう、臨床心
理学科の授業に興味のある方には、ぜひ
一度ご覧になっていただければと思
います。
(人文学部准教授 佐野友奈)

“こ発の森”という発信基地、情報広場

8月初旬、「こ発の森」(こはつのも
り)というちよつと大学の若者しか
らぬ名を冠したホームページをオ
ープンしました。このサイトは、人文学部
でも発達学部の教職員が学生の協力
を得ながら運営しています。
「こ発」は、入学定員56名小規模
な学で、今春やっとなが、明
る行動力のある学生生、元気があ
って活躍する卒業生、そして、熱心な教
職員によって、日々いろいろな出来事
や話題が生まれています。「こ発の森」
は、にぎやかな森のような学部の様
子をブログ、こ発の森通信と共にライ
ブに伝える発信基地として、その一方
で、在学生や卒業生の連絡帳、受験生
のガイドとなるQ&Aコーナーなどを
設け、学科内外の人々の情報広場と
して育てていきます。オープンしたば
かり準備中のコーナーも多あります
が、ぜひ一度、「こ発の森」を見に来
てください。
(人文学部准教授 鈴木健太郎)



「こ発の森」HP
<http://jinbunweb.sgu.ac.jp/~child/>
ブログ
<http://jinbunweb.sgu.ac.jp/~blog/>
child/

札幌学院大学バリアフリー委員会 設立十周年記念企画の開催

人文学部子ども発達学科四年 澤田 晴恵 (前バリアフリー委員会広報部長)



札幌学院大学バリアフリー委員会 10周年を祝う懇親会

九月二十五日(午後一時より)本学にて、バリアフリー委員会設立十周年記念企画を開催した。第一部は二〇〇〇年度学生代表の挨拶と記念講演(第二部は意見交換会)であった。記念講演は、企画製作プロダクション「イメージサファイト」の代表と中橋真知人氏による「映画を通して

分かれて行った。終了後、小グループそれぞれから報告があり、「バリアフリー委員会に入った理由は一人ひとりと違っても、同じ目標に向かって初心を忘れず協力して歩んでほしい」という先輩の思いを聞き、自分たちを見直すいい機会となった。本委員会の始まりは、一九九九年度本学に重度難聴が生じたことがきっかけで、当時の大学院生の呼び掛けで情報保障の取り組みを開始したことにあつた。また、南陽氏の講演では、現会員が知らない創設時の話や先輩たちの努力を聞くことができ、これから委員会の活動として参考に

本学の学生・教職員が日々感じている「SGUのことがイイ！」を表現する動画募集し、コンテストを行うイベント「学長杯SGUムービー大賞」を開催いたしました。このイベントは、学生、教職員、大学祭来場者による約六〇〇あまりの投票で、大賞が決定しました。「学生が大学運営に主体的に参画する」体験を通して、スタッフ学生は達成感や充実感を感じ、大学に対する帰属意識が持ったよう

図書館で学生ボランティアを募集しよと考えたのは、時代の流れ、他大学の動向が一つの要因としてあります。ある大学図書館では企画展示をはじめとする学生の色々な活動を図書館のフロアで発信していることができて、本学図書館も同様のことができないかと考えたのが発端です。六月に図書館のホームページにボランティア募集のお知らせを掲載し、学内にポスターを貼りました。その結果九名の応募がありました。そこで、私たちは当初

「学生のチカラ」 図書館ボランティア「本倶楽部(ブックラブ)」始動! 札幌学院大学図書課 堀切 利昭

さて、またスタートしたばかりなので、具体的な成果は少ないのですが、この夏には「妖怪・怪談の世界」の展示を行いました。時期的にも、朝の連続テレビ小説では「ゲゲゲの女房」をやっているというタイミングで、ユニークな企画でした。次にボランティアの団体名をつけようということになり、学生たちが持ち寄ったいくつかの候補の中から、「本倶楽部(ブックラブ)」

「学生が大学運営に主体的に参画する」体験を通して、スタッフ学生は達成感や充実感を感じ、大学に対する帰属意識が持ったよう

「学生が大学運営に主体的に参画する」体験を通して、スタッフ学生は達成感や充実感を感じ、大学に対する帰属意識が持ったよう

分かれて行った。終了後、小グループそれぞれから報告があり、「バリアフリー委員会に入った理由は一人ひとりと違っても、同じ目標に向かって初心を忘れず協力して歩んでほしい」という先輩の思いを聞き、自分たちを見直すいい機会となった。本委員会の始まりは、一九九九年度本学に重度難聴が生じたことがきっかけで、当時の大学院生の呼び掛けで情報保障の取り組みを開始したことにあつた。また、南陽氏の講演では、現会員が知らない創設時の話や先輩たちの努力を聞くことができ、これから委員会の活動として参考に

本学の学生・教職員が日々感じている「SGUのことがイイ！」を表現する動画募集し、コンテストを行うイベント「学長杯SGUムービー大賞」を開催いたしました。このイベントは、学生、教職員、大学祭来場者による約六〇〇あまりの投票で、大賞が決定しました。「学生が大学運営に主体的に参画する」体験を通して、スタッフ学生は達成感や充実感を感じ、大学に対する帰属意識が持ったよう

図書館で学生ボランティアを募集しよと考えたのは、時代の流れ、他大学の動向が一つの要因としてあります。ある大学図書館では企画展示をはじめとする学生の色々な活動を図書館のフロアで発信していることができて、本学図書館も同様のことができないかと考えたのが発端です。六月に図書館のホームページにボランティア募集のお知らせを掲載し、学内にポスターを貼りました。その結果九名の応募がありました。そこで、私たちは当初

「学生のチカラ」 図書館ボランティア「本倶楽部(ブックラブ)」始動! 札幌学院大学図書課 堀切 利昭

さて、またスタートしたばかりなので、具体的な成果は少ないのですが、この夏には「妖怪・怪談の世界」の展示を行いました。時期的にも、朝の連続テレビ小説では「ゲゲゲの女房」をやっているというタイミングで、ユニークな企画でした。次にボランティアの団体名をつけようということになり、学生たちが持ち寄ったいくつかの候補の中から、「本倶楽部(ブックラブ)」

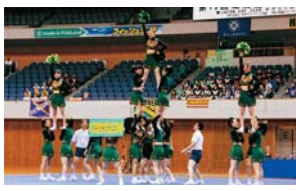
「学生が大学運営に主体的に参画する」体験を通して、スタッフ学生は達成感や充実感を感じ、大学に対する帰属意識が持ったよう

「学生が大学運営に主体的に参画する」体験を通して、スタッフ学生は達成感や充実感を感じ、大学に対する帰属意識が持ったよう

卒業生この人

究極の団体スポーツ! チアの魅力を後世に伝えたい 美濃部 麻紀さん

(2002年3月人文学部人間科学科卒業)



で完璧な演技をする為に、という永遠のテーマの答えを、十三年目の今でも失敗と成功を繰り返しながら探し続けています。その中で全員で創りあげていくメンバーへの絶大な信頼や絆、又一人に元氣や勇気を与え、鏡技会でお互いの演技を応援し合うチアリーダースピリッツは、「究極の団体スポーツ」と言われるチアリーダーに特有の魅力で、誰が欠けても成り立たない分、個人の役割・責任

は重いですが、だからこそ感じる自分の居場所や誇り、メンバーへの想いや支えてくれる方のおかげがあります。その全てに魅力を感じます。三、指導者としての資格を取得し、後進の育成にもあたられているそうですが、「教える」ことで、何か変化があられたら、何か変

このイベントを支えたのは、学生力や大学をもっとと活性化したいと集った有志十名で結成された「企画戦略チーム」です。彼らは、このイベントの企画立案、

「SGU動画共有サイト」で随時公開していく予定です。こちらもあわせてご期待ください。 ※サイトへは、「本学公式HP」↓「電子計算機センター」↓「SGU動画共有サイト」と進んでください。



技術だけではない分、個人の役割・責任

技術だけではなく、神面が大きく問われるところも表現力、リーダーシップ、誰が欠けても成り立たない分、個人の役割・責任

分かれて行った。終了後、小グループそれぞれから報告があり、「バリアフリー委員会に入った理由は一人ひとりと違っても、同じ目標に向かって初心を忘れず協力して歩んでほしい」という先輩の思いを聞き、自分たちを見直すいい機会となった。本委員会の始まりは、一九九九年度本学に重度難聴が生じたことがきっかけで、当時の大学院生の呼び掛けで情報保障の取り組みを開始したことにあつた。また、南陽氏の講演では、現会員が知らない創設時の話や先輩たちの努力を聞くことができ、これから委員会の活動として参考に

本学の学生・教職員が日々感じている「SGUのことがイイ！」を表現する動画募集し、コンテストを行うイベント「学長杯SGUムービー大賞」を開催いたしました。このイベントは、学生、教職員、大学祭来場者による約六〇〇あまりの投票で、大賞が決定しました。「学生が大学運営に主体的に参画する」体験を通して、スタッフ学生は達成感や充実感を感じ、大学に対する帰属意識が持ったよう



図書館で学生ボランティアを募集しよと考えたのは、時代の流れ、他大学の動向が一つの要因としてあります。ある大学図書館では企画展示をはじめとする学生の色々な活動を図書館のフロアで発信していることができて、本学図書館も同様のことができないかと考えたのが発端です。六月に図書館のホームページにボランティア募集のお知らせを掲載し、学内にポスターを貼りました。その結果九名の応募がありました。そこで、私たちは当初

「学生のチカラ」 図書館ボランティア「本倶楽部(ブックラブ)」始動! 札幌学院大学図書課 堀切 利昭

さて、またスタートしたばかりなので、具体的な成果は少ないのですが、この夏には「妖怪・怪談の世界」の展示を行いました。時期的にも、朝の連続テレビ小説では「ゲゲゲの女房」をやっているというタイミングで、ユニークな企画でした。次にボランティアの団体名をつけようということになり、学生たちが持ち寄ったいくつかの候補の中から、「本倶楽部(ブックラブ)」

「学生が大学運営に主体的に参画する」体験を通して、スタッフ学生は達成感や充実感を感じ、大学に対する帰属意識が持ったよう

「学生が大学運営に主体的に参画する」体験を通して、スタッフ学生は達成感や充実感を感じ、大学に対する帰属意識が持ったよう

2011年度入学試験日程

■一般入学試験 A日程				
学部・学科	出願期間	試験日	試験場	合格発表
人文学部人間科学科	1月8日(土)~1月28日(金) 必着	2月7日(月)	本学旭川帯広北見函館青森仙台東京	2月23日(水)
人文学部英語英米文学科				
人文学部臨床心理学科				
人文学部子ども発達学科				
法学部法律学科	2月8日(火)	2月8日(火)	本学	3月16日(水)
経済学部経済学科				
経営学部会計・ファイナンス学科				
経営学部経営学科				
社会情報学部社会情報学科	2月19日(土)~3月2日(水) 必着	3月7日(月)	本学	3月16日(水)
人文学部人間科学科				
人文学部英語英米文学科				
人文学部臨床心理学科				
人文学部子ども発達学科	3月7日(月)	3月7日(月)	本学	3月16日(水)
法学部法律学科				
経済学部経済学科				
経営学部会計・ファイナンス学科				
経営学部経営学科	3月4日(金)~3月11日(金) 必着	3月11日(金)	本学	3月19日(土)
人文学部人間科学科				
人文学部英語英米文学科				
人文学部臨床心理学科				

■一般入学試験 B日程				
学部・学科	出願期間	試験日	試験場	合格発表
人文学部人間科学科	2月19日(土)~3月2日(水) 必着	3月7日(月)	本学	3月16日(水)
人文学部英語英米文学科				
人文学部臨床心理学科				
人文学部子ども発達学科				
法学部法律学科	3月7日(月)	3月7日(月)	本学	3月16日(水)
経済学部経済学科				
経営学部会計・ファイナンス学科				
経営学部経営学科				
社会情報学部社会情報学科	3月4日(金)~3月11日(金) 必着	3月11日(金)	本学	3月19日(土)
人文学部人間科学科				
人文学部英語英米文学科				
人文学部臨床心理学科				

■大学入試センター試験利用入学試験				
学部・学科	区分	出願期間	試験日	合格発表
人文学部人間科学科	A日程	1月8日(土)~1月28日(金) 必着	2月23日(水)	本学独自の試験は課さない
人文学部英語英米文学科				
人文学部臨床心理学科				
人文学部子ども発達学科	B日程	2月18日(金)~3月2日(水) 必着	3月16日(水)	本学独自の試験は課さない
法学部法律学科				
経済学部経済学科				
経営学部会計・ファイナンス学科	C日程	3月4日(金)~3月11日(金) 必着	3月19日(土)	本学独自の試験は課さない
経営学部経営学科				
社会情報学部社会情報学科				



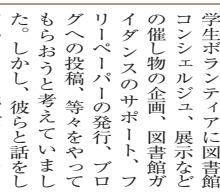
図書館を身近に感じてもらえるよう面白いこと沢山あります!



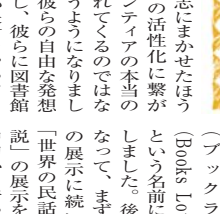
図書館を利用しやすいよう頑張ってます!



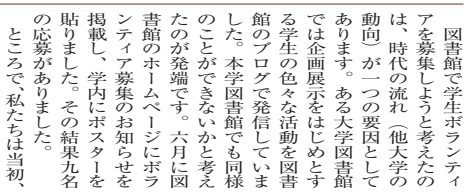
展示「世界の民話と伝説」



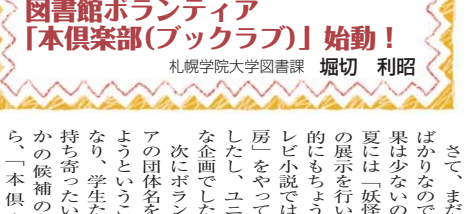
三角展示書架に並べられた資料とポスター



展示「妖怪・怪談の世界」



展示「妖怪・怪談の世界」



展示「妖怪・怪談の世界」



展示「妖怪・怪談の世界」